



本市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、東京圏への人口の過度の集中を是正し、各地域で住みよい環境を確保するため、「薩摩川内市人口ビジョン」および「薩摩川内市総合戦略」を策定しました。

人口ビジョンは、人口の現況を分析し、目指すべき将来の方向と将来的な人口の展望を示したものです。これを踏まえ、今後の目標や基本的施策を定めたものが**総合戦略**です。

薩摩川内市
人口ビジョン

本市の人口動態や産業などの分析を行い、市民の結婚・出産・子育てに関する意識や希望、定住意向・地域連携、また、市内の学生(高校・短大・大学・専門学校)の進路志望、将来の仕事や結婚などの意識を把握した上で、平成72年までの人口の将来展望を示しています。

人口動向の特徴

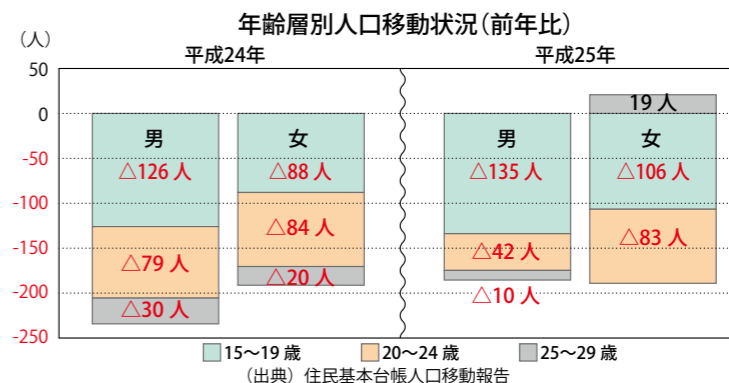
全体的に減少傾向にあり、平成22年の国勢調査で、10万人を割り込みました。川内地域はほぼ横ばいですが、その他の地域は大きく減少の傾向にあります。

① 若年層の転出超過

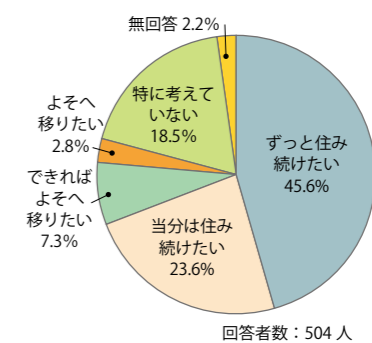
男性は「15歳～19歳」、女性は「15～19歳」と「20～24歳」の層で転出の超過が際立っています。

② 定住意向は7割弱

20歳以上の方を対象にした本市での定住意向は、次表のとおりです。これを見ると「ずっと住みたい」が、合わせて7割弱を占めています。

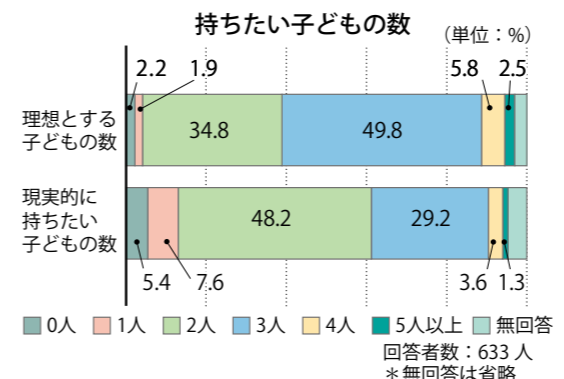


本市定住意向調査(20歳以上対象)

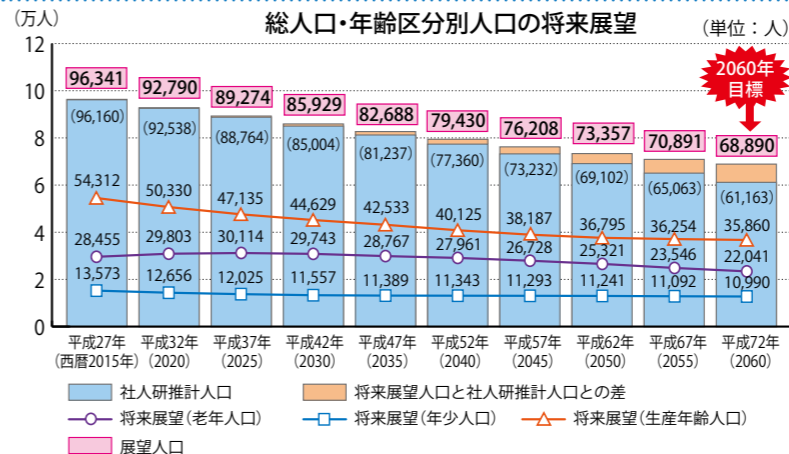


③ 理想の子ども数は2.7人

18～39歳の方を対象にした理想の子ども数が平均2.7人なのに対し、現実的に持たたい子どもの数は平均2.2人にとどまっております。0.5人の開きがあります。



総人口・年齢区分別人口の将来展望



長期的な人口の展望
国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は平成72年に6万1千人程度とされています。これを踏まえ、必要な施策を講じ、展望人口を次表のとおり設定します。

合計特殊出生率

一人の女性が生涯に何人の子どもを産むのかを推計した合計特殊出生率は、平成24年で1.86でしたが、平成42年には1.97とします。

また、人口を維持するために必要な子どもの数を示す水準値2.07を、平成52年度に達成し、平成62年には、2.20を目指します。

年間の出生数については、長期にわたって750人前後の維持を目標とします。



将来の展望に向けた戦略

- ① 若年層の雇用を創出するなどの対策により、進学や就職のための転出を抑制します。
- ② 子育て世代が安心して結婚・妊娠・出産・子育てをすることができると感じる環境を実現し、平成52年までに、転出超過を半減させます。

薩摩川内市総合戦略の策定の目的と位置づけ

本戦略の目的は、総合的な経営方針を取りまとめた「第2次薩摩川内市総合計画」の基本理念、施策体系を基に、人口ビジョンで整理した地域課題について、次の3つの視点から、必要な施策を推進することです。

- ① 若い世代を呼び込み・呼び戻せる雇用環境づくり
 - ② 子どもを産み育てやすい環境づくり
 - ③ 本市の特徴を生かした生活しやすい交流しやすい環境づくり
- *計画の期間は、平成27年度から平成31年度まで

基本目標と施策の基本方向

本市の人口ビジョンで整理した地域課題解決を図るため、

- ① 雇用
- ② 移定住
- ③ 結婚・出産・子育て
- ④ 地域づくり

の4つの分野に整理しました。また、分野ごとに、5年後の基本目標と実現すべき成果を設定しました。

基本目標	目標実現に向けた施策の基本方向												
<p>基本目標1 生き生きと働くまち薩摩川内【雇用】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業者数</td> <td>40,986人(H24)</td> <td>40,000人</td> </tr> <tr> <td>15歳以上人口に占める従業者数の割合</td> <td>48.80%</td> <td>49.60%</td> </tr> <tr> <td>雇用保険被保険者数</td> <td>24,350人</td> <td>25,000人</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値	目標値	従業者数	40,986人(H24)	40,000人	15歳以上人口に占める従業者数の割合	48.80%	49.60%	雇用保険被保険者数	24,350人	25,000人	<ul style="list-style-type: none"> ◆薩摩川内の産業競争力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・本市の優位性を生かした特色ある企業誘致と地域産業の活性化 他 ◆薩摩川内を元気にする産業創造 <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性と次世代エネルギーを生かした地域産業の創出と振興 他 ◆安心・快適な職場環境等づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・若者の就職・育成・定着の促進 他
数値目標	基準値	目標値											
従業者数	40,986人(H24)	40,000人											
15歳以上人口に占める従業者数の割合	48.80%	49.60%											
雇用保険被保険者数	24,350人	25,000人											
<p>基本目標2 暮らしたいまち薩摩川内【移定住】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市への転入数</td> <td>3,289人/年</td> <td>3,300人/年</td> </tr> <tr> <td>18～22歳市外転出者数</td> <td>764人/年</td> <td>700人/年</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値	目標値	本市への転入数	3,289人/年	3,300人/年	18～22歳市外転出者数	764人/年	700人/年	<ul style="list-style-type: none"> ◆薩摩川内への移定住の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・定住しやすい制度の充実、地域おこし協力隊の導入拡大 他 ◆大学との地域連携などによる活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域産業を生み出す人材創出、新卒者などの転入促進・転出抑制 他 			
数値目標	基準値	目標値											
本市への転入数	3,289人/年	3,300人/年											
18～22歳市外転出者数	764人/年	700人/年											
<p>基本目標3 子育てするなら薩摩川内【結婚・出産・子育て】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安心して産み育てることができると感じる市民の割合</td> <td>62%</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>1,000人当たりの出生率</td> <td>9.6人</td> <td>9.8人</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値	目標値	安心して産み育てることができると感じる市民の割合	62%	72%	1,000人当たりの出生率	9.6人	9.8人	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもを持ち、育てやすい環境整備とサービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・産前産後ケアの充実、子育て世帯への経済的負担感の軽減 他 ◆出産後も働きたい女性を応援 <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の解消、保育サービスの充実 他 ◆結婚・妊娠・出産・子育ての各段階に応じた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・若者の出会い・婚活の支援、各段階に応じた相談体制の充実 他 			
数値目標	基準値	目標値											
安心して産み育てることができると感じる市民の割合	62%	72%											
1,000人当たりの出生率	9.6人	9.8人											
<p>基本目標4 豊かに暮らす薩摩川内【地域づくり】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>数値目標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心地域の住みやすさの市民満足度</td> <td>67%</td> <td>77%以上</td> </tr> <tr> <td>周辺地域の住みやすさの市民満足度</td> <td>67%</td> <td>77%以上</td> </tr> </tbody> </table>	数値目標	基準値	目標値	中心地域の住みやすさの市民満足度	67%	77%以上	周辺地域の住みやすさの市民満足度	67%	77%以上	<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力を高める地域環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な地域づくり、地域づくりを支えるふるさと教育 他 ◆既存ストックのマネジメント強化 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用推進、公共施設の統廃合・有効活用 他 ◆都市のコンパクト化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクト化の推進と地域ネットワークの形成、にぎわいのある街なか拠点の形成 他 ◆小さな拠点の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援システムの構築、安心して生活できる集落生活圏の形成 他 			
数値目標	基準値	目標値											
中心地域の住みやすさの市民満足度	67%	77%以上											
周辺地域の住みやすさの市民満足度	67%	77%以上											

*【基準値】は、総合戦略策定時に把握できる最新の実績値(表示がない場合は平成26年度)とします。
*【目標値】は、計画期間の最終年度である平成31年度とします。